

# 第7章 事業計画の概要とフォローアップ

## 7.1 事業計画の概要

### 7.1.1 実施スケジュール

28 ある実施方策のスケジュールを表 7.1 に示します。

表 7.1 (1) 実施方策のスケジュール (その1)

安心：安全で/信頼されつづける水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
衛生管理体制の強化	水安全計画の策定	策定			水質基準 不適合率	%	0.0
	水安全計画の運用		運用				
水質検査体制の充実	水質検査回数の見直し		適宜検討・実施		水質検査 箇所密度	箇所/ 100km <sup>2</sup>	95.9以上
貯水槽水道の設置者への働きかけ	貯水槽水道に対する調査の実施		定期的実施		-	-	-
	貯水槽水道設置者に対する指導、助言及び勧告		適宜実施				
	貯水槽水道設置者に対する啓発活動		実施				

安定：いつでも/送りつづけられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
【重点施策】 水源計画の見直し	適正な揚水量の確保		実施		水源余裕 率	%	14.1
	府営水の活用		実施				
【重点施策】 施設の統廃合	大住浄水場の廃止 (水源地化)		水源地化工事		施設最大 稼働率	%	87.7
【重点施策】 老朽設備や老朽管の更新	老朽設備の更新		実施		-	-	-
	管路腐食状況の調査		管路更新にあわせて実施				
	老朽管の更新		実施				
未給水の解消	未給水世帯への水道 布設		適宜実施		普及率	%	99.9
バックアップ機能の増強	他市町等との相互連 絡管整備		検討の上、適宜実施		-	-	-
	北から南へのバック アップ検討			検討			
	自家発電設備の導入 検討		導入検討 (必要に応じて実施)				
【重点施策】 施設や管路の耐震化	施設耐震化の実施	詳細診断			浄水施設 耐震率	%	100.0
			補強工事 (随時)		ポンプ所 耐震施設率	%	100.0
	管路耐震化の実施		(基幹管路を優先) 管路更新にあわせて布設替工事		配水池耐 震施設率	%	100.0
					管路の耐 震化率	%	25.0
				基幹管路 の耐震化 率	%	78.0	

表 7.1 (2) 実施方策のスケジュール (その2)

安定：いつでも/送りつけられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
応急給水体制の強化	緊急遮断弁の設置	設置工事			緊急遮断弁設置済み配水池数	箇所	3
	資材備蓄の共同化		検討・実施		車載用の給水タンク保有度	m <sup>3</sup> /千人	0.398
	新たな応援協定の締結		推進		-	-	-
危機管理マニュアルの定期的な見直し	防災訓練の実施		定期的に実施		-	-	-
	危機管理マニュアルの見直し		適宜見直し		-	-	-

持続：いつまでも/使いつづけられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
【重点施策】 効率的な資産管理	更新計画の策定・実施	策定	計画に基づく更新実施		幹線管路の事故割合	件/100km	0.0
	マイクロマネジメントの実施		実施				
	更新周期の見直し		適宜見直し				
経費のさらなる節減	窓口業務等における民間委託の検討		検討・実施		経常収支比率	%	100.0以上
収入源の確保	遊休施設用地の有効活用		検討・実施		-	-	-
	井戸利用者の水道利用促進		検討・実施		-	-	-
【重点施策】 料金体系等の適切な見直し	料金体系の見直し(改定)	検討	見直し		料金回収率	%	100.0以上
	基金運用ルールの見直し		見直し				
【重点施策】 柔軟な組織機構への改革	修繕部門の強化		検討・強化		-	-	-
	事務分担の見直し		適宜見直し		-	-	-
事業評価の実施	中期経営計画の策定	策定	策定	策定	-	-	-
	業務指標の算出・評価		算出・評価		-	-	-
料金の公平な徴収	口座振替の推進		検討・推進		料金未納率	%	1.7
	滞納整理の強化		検討・強化				
適切な情報の公開	ホームページコンテンツの充実		検討・実施		-	-	-
	新たなPR方法の検討		検討(適宜実施)		-	-	-
窓口サービス等顧客サービスの向上	インターネットを用いた各種サービスの実施		検討・実施		-	-	-
	給水申請書類等の電子化の検討	検討	(必要に応じて実施)		-	-	-
	独居老人等の安否確認		検討・実施		-	-	-
より公平な入札制度への改革	電子競争入札システムの導入	導入			-	-	-
個人情報の保護対策	ソフト面の情報セキュリティ対策		実施		-	-	-
	ハード面の情報セキュリティ対策		実施		-	-	-

表 7.1 (3) 実施方策のスケジュール (その3)

持続：いつまでも/使い続けられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
【重点施策】 人材育成・職員の意識改革	外部研修会への参加		実施		職員資格 取得度	件/人	0.600
	ナレッジマネジメントの実践		検討・実施				
	広域連携での人材育成	検討	(実施)		外部研修 時間	時間	2.5
	人事評価制度の導入		実施				
【重点施策】 技術者の確保	再任用制度の活用		検討・実施		技術職員 率	%	62.1
	技術系職員の中途採用		継続して実施				

環境・国際：地球・環境に/やさしい水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール			数値目標 (H39)		
		短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)	指標名	単位	目標値
環境負荷の低減	事務所活動での電力 使用量削減		継続して実施		—	—	—
	紙の使用量削減		継続して実施				
省エネルギー対策の推進	運転方法等の改善		検討・実施		配水量1m <sup>3</sup> 当たりの 電力消費 量	kWh/m <sup>3</sup>	0.811
	高効率機器の導入		更新時に導入を検討				
	再生可能エネルギー の導入検討		継続して調査・検討 (可能性あれば実施)				
資源のリサイクル	建設副産物のリサイ クル推進		継続して実施		建設副産 物のリサ イクル率	%	90.0
国際貢献策の検討	国際貢献策の検討		検討 (適宜実施)		—	—	—

### 7.1.2 概算事業費

実施方策を実現するためには、今後 15 年間で総額 88 億円の概算事業費が必要となります (表 7.2 参照)。

表 7.2 京田辺市水道ビジョンの概算事業費

事業名 (仮称)	概算事業費 (百万円)			合計	備考
	短期 (H25~29)	中期 (H30~34)	長期 (H35~39)		
大住浄水場水源地化事業	54	765	-	819	
老朽施設更新事業	571	924	750	2,245	
施設耐震化事業	222	41	-	263	
応急給水拠点事業	71	-	-	71	
老朽管更新・耐震化事業	1,318	1,455	1,725	4,498	
その他	371	250	237	858	
合計	2,607	3,435	2,712	8,754	

## 7.2 ビジョンのフォローアップ

『京田辺市水道ビジョン』は本市水道事業が15年先にめざす目標を定めたマスタープランです。今後はPDCAサイクルで実施方策の進捗管理、事後評価、改善点の検討を行い、次期ビジョンに改善点を反映させていきます。

次期ビジョンの策定は15年後ですが、5年ごとの『中期経営計画』の改定時には、それまでの進捗状況や利用者ニーズ（市民アンケート等の実施）の把握に努め、ビジョンの内容も適宜見直しを行います。



Plan (計画の策定)	ビジョンを策定（今後15年間の計画）し、ビジョンに沿った実施計画（中期経営計画等）を立案します。
Do (事業の推進)	業務指標等を活用して、各実施方策の進捗状況を管理します。
Check (目標達成状況の確認)	5年ごとの中期経営計画改定時に目標への到達見込みを確認し、必要に応じて実施方策等の一部見直しを行います。そして、15年後を目処に目標の達成状況を評価します（市民アンケートを実施し、顧客満足度の把握に努めます）。
Act (改善の検討)	さらに次の15年間を見据えて、未達成目標や新たなニーズへの対応を検討し、次期ビジョンの策定を行います。